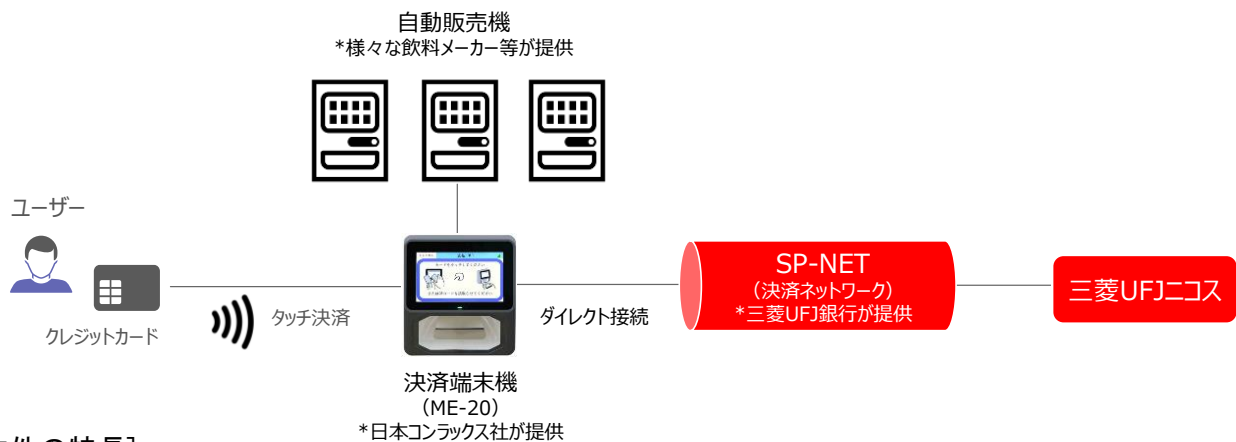


三菱UFJニコス、自動販売機へのタッチ決済導入を加速 日本コンラックスの自販機専用端末に順次搭載、年間2万台の導入を目指す！

～少額決済分野における快適・安全・安心なカード利用を促進、12月5日から順次～

三菱UFJニコスはこの度、自動販売機（以下、自販機）組み込み型の決済端末を開発・提供する株式会社日本コンラックス（本社：埼玉県坂戸市、代表取締役社長：小池雄一、以下：日本コンラックス）と提携し、同社の決済端末（ME-20）にタッチ決済（非接触ICによるクレジットカード決済※）を導入し、12月5日より順次取り扱いを開始します。 ※Visa/Mastercard®/JCB/American Express®のタッチ決済（コンタクトレス決済）

今回、タッチ決済が可能となるのは、日本コンラックス提供の決済端末を搭載した自販機。同自販機では既に電子マネー決済やQRコード決済は利用可能となっており、日本コンラックスは今般、利用者の一層の利便性向上を目的に、クレジットカードによるタッチ決済機能の追加を決め、当社が導入するものです。本サービスにより、自販機の端末（ME-20）に非接触対応のクレジットカードをかざすだけで決済が完了。会員のサインや暗証番号の入力も不要で手軽に商品の購入が可能となります。なお、既に決済端末が取り付けられている自販機については、端末を入れ替えることなく、同端末（ME-20）への追加設定作業のみで本サービスの導入が完了するものです。



[本件の特長]

SimplePaymentをコンセプトに掲げる三菱UFJ銀行提供の決済ネットワークサービス「SP-NET（エスピーネット）」を活用。これにより当社は、かねて課題の飲料自販機など少額かつ多量なカード決済処理にかかるコストを従来に比べ圧縮しつつ、快適・安全・安心なカード決済を実現。

- ① 自販機に搭載の日本コンラックスの決済端末はクラウド型であり、SP-NETにダイレクトに接続することで、情報処理センター等を介することなく当社に決済情報を連携可能。
- ② 一括払いに限定しており情報処理プロセスを簡素化、シンプルかつ低コストの処理を実現。
- ③ 決済情報はすべてSP-NET経由で処理され、カード情報が自販機や日本コンラックスの決済端末（クラウドサーバー）を経由することなく決済を完了。（カード情報の非保持化）

当社は今後、日本コンラックスとの連携を強化し、自販機でのカード決済サービスを一層推し進めたいと考えています。なお、タッチ決済対応の同社端末を搭載した自販機の取り扱い台数（新規導入含む）は来年度以降、年間約2万台を目指しています。

<参考資料>

■日本コンラックスについて

[企業概要]

社名:株式会社日本コンラックス

本社:埼玉県坂戸市千代田5丁目3番8号

設立年月日:1967年9月

事業内容:

- ・自動販売機・精算機を始めとする自動サービス機器における現金決済およびキャッシュレス決済の開発、製造及び販売
- ・2013年12月には、グローバルに事業を展開する決済システムプロバイダーのCPI(Crane Payment Innovations)ファミリーに加わり、日本国内及びグローバル市場の決済分野において、さらなる価値の創造と提供を追究し、お客様の事業拡大・成長をサポート

[決済端末イメージ]

